埼玉県・さいたま市内の学校にお勤めの教員のみなさまへ

埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター主催

「２０２５年度教育実践総合セミナー」のおしらせ

埼玉大学教育学部附属教育実践総合センターは、学内外の関係諸機関との連携のもとに教育実践に関する理論的かつ実際的研究及び教育を行い、教員養成及び教員研修に資することを目的に掲げています。

中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」以降の「新しい教師の学びの姿」の中で、研修履歴を活用した対話による受講奨励も進められ、新しい研修観に則した研修コンテンツや研修会の充実が求められています。そこで、附属教育実践センターでは学校での勤務経験のある本センター教員による学校の教育課題についての対話・ワークショップ型の研修会を開催します。

みなさまの参加をお待ちしています。

１　開催日時
　令和７年８月２０日（水）、２１日（木）、２２日（金）、２５日（月）
　いずれも１３：００～１６：３０（受付開始１２：３０～）

２　開催場所
　埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター（附属小学校敷地内）
　さいたま市浦和区常盤６－９－４４　（アクセスはQRコードから）
　※　本セミナーは対面方式のみで実施します。

３　内容
　裏面を参照ください。

４　参加対象者
　埼玉県・さいたま市内及び近隣の学校にお勤めの教員及び指導主事等
　埼玉大学教育学研究科現職大学院生・同学卒の大学院２年生・大学院修了者

５　参加費　無料

６　申込方法と締切日
　参加ご希望の方は、教員研修プラットフォーム plant よりお申込みください。
　https://plant.nits.go.jp/
　締切日は８月１８日～２１日（裏面参照）締切日前でも、定員に達した場合締め切ります

７　備考
　テーマごとに申し込みを受け付けます。受講者には修了証を発行します。

主催・後援
　主催：埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター
　後援：埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会

お問い合わせ先：　埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター
さいたま市浦和区常盤６－９－４４
e-mail：　saidai-jissencenter@gr.saitama-u.ac.jp
電話　：　048-832-9866　（月・水・金のみ）
＊8 月 11 日(月)～19 日(水)は休業中につき事務室は閉室しています。

研修テーマ

その１：８月２０日（水）（申込締切　８月１８日）

明日の教育実践につながる教師の学び合い　　担当：関口　睦　教授
学校は教員にとって「最大の研修の場」です。教育実践力を高めるためには、外へ出て学ぶこともちろん必要ですが、身近なところに目を向けて自らの実践力を高めていくことが大切です。学校を教師にとっての「最高の学びの場」としていくためにどうしたらよいかを講義やワークショップを通じて参加者の方々と考え、自校で実践していくための場づくりを設定していきたいと思います。「教師が共に育つ環境づくり」をどう構築していったらよいか自分なりの解が見えることをゴールとしていきます。学校を教員の自己実現の場としていき、楽しい職場づくりを目指していくために、一人の教員ができることは何かについて皆さんで考えていきたいと思います。

その２：８月２１日（木）（申込締切　８月１８日）

学校の諸課題を議論して、教師が働きやすい職場づくりに繋げよう！　　担当：浅海　純一　教授
学校現場の教育活動の多様化や複雑化により、従来の教師の感覚では対応が難しくなっている状況の中で、国や自治体が進めている働き方改革の在り方や、それに対する学校現場の対処方法について、現場の皆さんの意見をいただきながら、働きやすい職場づくりを考えてみたいと思います。 また、教師不足が深刻化する今日、教師を目指す若者や若手教師に対して、やりがいや魅力、働きやすさをどう発信していくのかも、議論してみたいと考えています。

その３：８月２２日（金）（申込締切　８月２０日）

特別な支援を必要とする子どもへのチーム支援　　担当：内河　水穂子　教授
特別な支援を必要とする子どもたちの課題は、複雑化・多様化しています。その子どもたちへの適切な支援を検討するために、子どもの実態把握と支援方法、ケース会議のあり方、特別支援教育・生徒指導・教育相談・関係機関と連携するチーム支援について考えていきます。本研修では、講義、事例検討ワーク、参加者の実践上の悩みについての質疑・応答を行います。

その４：８月２５日（月）（申込締切　８月２１日）

日々の教育活動に生かすカリキュラム・マネジメント　　担当：栗原　孝子　教授
現行の学習指導要領では、育成を目指す資質・能力の３つの柱「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力など」「学びに向かう力、人間性など」を育成するために、各学校における教育活動の質の向上を図るカリキュラム・マネジメントが求められています。カリキュラム・マネジメントは、教育課程の担当者や管理職だけでなく、全教職員の参画意識を高めることが大切と考えます。教育活動の質の向上を目指し、PDCA サイクルを回しながら、学校全体で進めていくカリキュラム・マネジメントについて考えていきます。

受講希望者はテーマごとに申し込んでください。各テーマの定員は４０～６０名

時程

受付	１２：３０～１２：５０
研修１	１３：００～１４：３０
休憩	１４：３０～１４：４０
研修２	１４：４０～１６：１０
閉会（振り返り、アンケート記入）	１６：１０～１６：３０